

(証券コード 5858)

2024年6月3日

株主各位

大阪府八尾市山賀町六丁目82番地2

株式会社 S T G

代表取締役社長 佐藤 輝明

「第42回定時株主総会招集ご通知」一部訂正お知らせ

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、2024年6月3日付けにて株主の皆様にご送付いたしました、当社「第42回定時株主総会招集ご通知」の記載事項に一部訂正すべき点がございましたので、謹んでお詫び申し上げますとともに、下記のとおり訂正させていただきます。

敬具

記

1. 訂正箇所

第42回定時株主総会招集ご通知

4ページ 1. 企業集団の現況に関する事項 (4) 対処すべき課題

26ページ 連結注記表 (連結貸借対照表に関する注記)

2. 訂正内容

1. 企業集団の現況に関する事項 (4) 対処すべき課題

(下線は変更部分)

修正前	修正後
<p>①資金調達の多様化</p> <p>当社の資金調達は、<u>特定投資家などからの出資</u>及び<u>金融機関からの借入に限定されております。</u>電気自動車等に代表される軽量化の波が大きく、当社の主力製品であるマグネシウムダイカストへの需要が盛り上がりを見せていることから、引き続き、積極的に設備投資を行ってまいりたいと考えております。このため、資金調達の多様化を早急に図ることは今後の成長戦略を描くうえで、喫緊の課題であります。</p>	<p>①資金調達の多様化</p> <p>当社グループの資金調達は、<u>大半が金融機関からの借入となっております。</u>電気自動車等に代表される軽量化の波が大きく、またマグネシウムダイカストへの期待が大きいほど、競合する相手は資金調達能力が高い海外部品メーカーとなります。このため、資金調達の更なる多様化を早急に図ることは今後の成長戦略を描くうえで、喫緊の課題であります。</p>
<p>②社会的信用・知名度の向上</p> <p>当社グループは最終製品を製造するメーカーから見て、2次下請けになることが多々あります。国内でマグネシウムダイカストを扱うメーカーが非常に少数であるため、技術的にマグネシウムダイカストを利用したいメーカーはたくさんあると思われますが、<u>信用力の面で一中小企業であることが障壁になっていることがないとは言えない状態です。</u></p>	<p>②社会的信用・知名度の向上</p> <p>当社グループは最終製品を製造するメーカーから見て、2次下請けになることが多々あります。国内でマグネシウムダイカストを扱うメーカーが非常に少数であるため、技術的にマグネシウムダイカストを利用したいメーカーはたくさんあると思われますが、<u>取引先の選定において、知名度が十分でないことから取引開始に至るまでには、時間がかかることがあります。</u></p>

	<p><u>顧客サイドから見れば、取引業者への信頼性及び社会的信用力は重要な要素であります。</u></p> <p><u>当社グループの継続的な企業価値の向上を実現していくには、当社グループの知名度の向上、信頼性及び信用力の向上が重要な課題であると認識しております。</u></p>
--	---

連結注記表 (連結貸借対照表に関する注記)

(下線は変更部分)

修正前	修正後												
<p>1. 当座貸越契約</p> <p>当社及び連結子会社2社 (SANKI EASTERN (THAILAND) COMPANY LIMITED、STX PRECISION (JB) SDN. BHD.) は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行<u>4行</u>と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく連結会計年度末における当座貸越契約に係る借入未実行残高は次のとおりであります。</p> <table> <tr> <td><u>当座貸越極度額の総額</u></td> <td><u>812,190 千円</u></td> </tr> <tr> <td>借入実行残高</td> <td>735,090</td> </tr> <tr> <td><u>差引額</u></td> <td><u>77,100</u></td> </tr> </table>	<u>当座貸越極度額の総額</u>	<u>812,190 千円</u>	借入実行残高	735,090	<u>差引額</u>	<u>77,100</u>	<p>1. 当座貸越契約</p> <p>当社及び連結子会社2社 (SANKI EASTERN (THAILAND) COMPANY LIMITED、STX PRECISION (JB) SDN. BHD.) は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行<u>5行</u>と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく連結会計年度末における当座貸越契約に係る借入未実行残高は次のとおりであります。</p> <table> <tr> <td><u>当座貸越極度額の総額</u></td> <td><u>912,190 千円</u></td> </tr> <tr> <td>借入実行残高</td> <td>735,090</td> </tr> <tr> <td><u>差引額</u></td> <td><u>177,100</u></td> </tr> </table>	<u>当座貸越極度額の総額</u>	<u>912,190 千円</u>	借入実行残高	735,090	<u>差引額</u>	<u>177,100</u>
<u>当座貸越極度額の総額</u>	<u>812,190 千円</u>												
借入実行残高	735,090												
<u>差引額</u>	<u>77,100</u>												
<u>当座貸越極度額の総額</u>	<u>912,190 千円</u>												
借入実行残高	735,090												
<u>差引額</u>	<u>177,100</u>												

以上